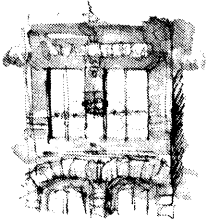


# ユトピア

## ある会話



清 水 光 子

去る七月初旬に中央教育審議会の答申が出されて、前からざわめいていた教育界、ことに幼児教育の世界に、予期していたこととはいいながら大きな波紋が投げられた。次の会話は、ある私立幼稚園の職員室で、職員会議のあのひととときに、かわされたものである。

—あのね、さっき園長先生が中教審答申のことおっしゃったでしょう？ あなたはどう思う？

—どう思うって、私、よくわからないの。あの新聞に出たの、一通りは読んだわ。幼児教育に関する所なんか二度ぐらい読んだけど、正直いって私たち現場の者には直接関係ないみたいな気もするんだけど……。

—関係ないことはないと思うわ。だけ

ど毎日お子さんたちとの生活の中で、身近な問題をたくさんかかえているっていうことじゃないの？ でもそれに大事なかわりがあるのじゃないかしら？ 私、うまくいえないけど……。

—そうなのね。そういえばこの間、園長先生が読んでおいた方がいいですよってくださった日私幼か何かの「中教審答申に対する見解と主張」ってパンフレットお読みになった？

—いいえ。

—まだ……。

—私もまだ……。

—私、一通りよんだのよ。でも何だかピンとこない感じなの。それと、いかにも私幼が我田に水を引こうとしているような感じがして……。私たちがって私幼なだけだ。

—私も読んだけどそんな感じがしたわ。

問題点をむりして引っぱり出してやるな……。もつと大事な点を忘れてい  
るんじゃないかっていうような……。  
—じゃ、整理して考えてみないといけ  
ないわけね。

—そうなのよ。あの答申、文章だけか  
らなら至極もつともよね。

—ま、とにかくみんなが問題にしてい  
るのは先導的試行ってことなんじゃな  
い？

—そう。学校教育の総合的な拡充整備  
の目的で、まずある方法をやってみよ  
うっていうのね。それも官公私立の学  
校いくつかえらんで……。

—四歳児から小学校低学年まで、一貫  
したカリキュラムによって幼児学校み  
たいなのやってみるっていうのね。

—そうらしいわ

—いつから始めるのかしら？

—昭和四十九年度からですってよ。え

らばれた学校でしよう？

—それで十年くらいやって、よい、こ  
れならいける、(何かのコマーシャルみ  
たいという声あり) ってたったらその  
線で改革しようっていうらしいわ。

—あーら、先生よくわかっていらっし  
やるじゃない？ さすがー。

—だけど、どうもだめだ、やっぱりだ  
めです、だから元通り、なんて文部省  
がどうかしら？

—そこが問題よね。やってみる、試し  
てみるなら充分考えたあげく、試行と  
やらをやつてほしいわね。それに、保  
育所との関連もあるじゃない？ 教育

改革っていったら大変なことよええ。  
何しろ、全国津々浦々にその制度を実  
施することになったらお金が大変でし  
よう？

—

—会計係先生としては……ね。(笑)

—それもそうだし、慎重にっていう一

つは、こどもをモルモットにしてほし  
くないのよ、私は……。

—そうよ、私だって。今の制度がいろ  
いろな意味で完べきとは思わないわ。

ことに、いつも園長のいつてる幼稚園  
教育要領にしたって、誤解しやすい領域  
なんていうことにしろ、改めたいこと  
あると思うの。でもそれを天下一にし  
ないで現場の声をとり入れて、納得い  
くように試行してほしいんだわ。

—あんなことされたら私立は立ちゆか  
なくなる……なんてどこかの先生おこっ  
ていらしたけど、そんなことじゃない  
わよね、ポイントは。

—この間、私、友だちからきいたのよ。  
中教審答申ってほとんどあの通り実行  
されるものなんですって。だからその  
人の友だち、小学校教諭の免許状とる

こと考えて勉強してるって……。

—おやおやお気の早い。

—その気持わかるわ。教諭の資格だつて、当然問題になるもの。

—まあともかく、私たちに関係あるのは教育内容だと思ふのよ。それどうなのかしら。四歳児から小学校の授業のようなことするのだったら断然反対よね。

—そうよ。そんなことになりそうだったらむしろ旗でもおっ立てて……。

—また先生のおはこが出た！ でもそうよ。今までだって、小学校一年生になったとたんにこどもの生活が「教育される生活」みたいなわくにはめ込まれてしまうの、私気に入らないの。

—私たちはみんなそう思うわよね。むしろ小学校低学年がこどもの生活を主体にした形にするとか……、とにかく、形を作ってそれにはめこむやり方ではなく、こどもの生活から生まれた形にするような……。

—賛成よ、その考え、賛成よ！

—私たちも、直接関係ない、なんていっていないで大いに研究してみましようよ。実は大変身近なことなんだってこと、きょうこうしてしゃべっただけで何だかわかったみたい。

—要するに、なんていうと少し恥ずかしいけど、私たちの次代を背負うこともたちの幸せを、どうすればよいか、が根本よねえ。

—そうね。本当にそう思うわ。こんど園長先生もいっしょにお話し合いたいわね。

—そうしましょうよ。(一同同意)

(私立音羽幼稚園)

